

③③ 道 祖 神



大井町内には、46か所60基の道祖神が散在しているといわれます。古くは男性の子どもたちが正月早々より小屋を作り、中で餅を炉で焼いて食べたり、太鼓を叩いて遊んだり、講中の家を「悪魔はらい」と唱えながら「御幣」ではらい清めてまわり歩きました。14日に「サイトバライ」と称し薪木や達磨や古いお札、書初めなどを焼き、その火で団子を焼く行事で終わりました。しかし時代の变化により現在ではその名残をとどめる程度となっています。

大井町で一番古い道祖神は篠窪にある「入方の道祖神」です。寛文11（1671）年6月14日と碑に刻まれており、年号の明らかな現存する最古の道祖神として大変貴重な道祖神です。



町内各所にある道祖神



どんど焼きの準備の様子（馬場地区）